



# 東京プレスクラブ

2011年10月29日 土曜日

## 一連の週刊誌報道について、橋下徹氏がツイッターでコメントしました

@tokyopress

以下、橋下徹氏 (@t\_ishin) のツイッターからの引用となります。

問い合わせが多いので一連の週刊誌報道についてコメントします。実父とその弟(伯父)がやんちゃくれで実父が最後に自殺したのは事実。僕が小学校2年の時。物心ついたころには実父は家にいなかったのほとんど記憶なし。

食事中僕が箸を投げつけて実父に背負い投げされたこと、下の駐車場から「徹～」とだみ声で呼ばれたこと、通夜のときに顔を触られて冷たく固かったくらいに記憶しかない。ガス管啜えての自殺は僕が成人近くになってから周囲から知らされた。暴力団に正式に入っていたかどうかは知らない。

実父と叔父が、それでもむちゃくちゃやんちゃくれで、暴力団関係者であったことは周囲の話からは聞いた。同和地区に住んでいたことも事実。伯父の愛人に子どもいて(僕の従兄)、犯罪を犯したことは事実。この従兄とは僕が幼少のころ伯父に会わせられたらしいが僕の記憶になし。

僕が弁護士になってから伯父とこの従兄と会ったことがある。犯罪事実については今回の週刊誌で詳細に知った。ここまですら事実で、後は知らん。伯父が言うこと、僕の周囲が言うこと、僕に対する評価は色々あるでしょう。僕は公人だから何を言われてもある意味しょうがない立場。

母が再婚する前、幼少時代には伯父を始め実父方の親戚筋のところ泊ったことも多かったし、お世話にもなった。しかし、僕が中一の頃、母が再婚してからは親せき付き合いが疎遠になった。もちろん完全に切れていたわけではない。伯父から知事就任時に当選祝いももらった。

しかし僕を育ててくれたのは、母親であり現在の父親である。伯父に小遣いやお年玉の類を除いて生活の経済的援助をしてもらったことは一切ない。僕の大学進学費用、妹の海外留学費用も全て現在の父のおかげである。僕は学生時代真面目な学生でなかったことは認める。

先生の中にも僕のことを嫌っていた人はいっぱいいただろう。また僕が最初に勤めた法律事務所のボス弁は僕のことを大嫌いである。弁護士の多くは僕のことを嫌いだし。人が人を評価するには色々ある。そういう人は事実を離れて話すだろう。公人という立場である以上、そこは気にしない。

僕自身、実父が正式な暴力団員であったこと、従兄が人の命にかかわる重大な犯罪事実を犯したことは週刊誌報道で初めて知った。実父の出自も今回の週刊誌報道で初めて知った。僕は成人だから良い。しかし僕には子供がいる。思春期多感の子供だ。子供は、事実を初めて知った。

週刊誌の見出しがここまで躍ると、子供の友達も皆知ることになっているだろう。妹も初めてこの事実を知った。妹の夫、その親族も初めて知った。妻やその親族も初めて知った。子供に申し訳ない。妹夫妻、妻、義理の両親親族、皆に迷惑をかけた。メディアによる権力チェックはここまで許されるのか。

子供は親を選べない。どのような親であろうと、自分の出自がどうであろうと人はそれを乗り越えていかなざるを得ない。僕の子供も、不幸極まりない。中学の子供二人には、先日話した。子供は、関係ないやん！と言ってくれたが、その方が辛い。文句を言ってくれた方が楽だった。

僕は暴力団との付き合いは一切ない。特定団体への補助金を優遇したことは一切ない。以前の同和事業に相当する補助金については、僕が知事に就任してから厳しく見直した。週刊誌は9億円しか削減していないと報じていたが、9億円も削減したのは僕になってからである。お金以外のところも厳しく見直した

僕はメディアによる権力チェックは最大限尊重する。メディアによるチェックこそが民主社会の根底である。その方針でメディアに対して対応してきた。もちろん反論するべきところは徹底して反論する。しかし、権力チェックは万能の権利なのだろうか。

報道による権力チェックは民主主義の根幹。しかし公人と云えども人間だ。公人に人間の権利は一切ないのか。公人本人はどうでも良い。自分で選んだ道だから。では公人の家族はどうなんだ？公人の家族も一定の負担をしなければならないだろう。しかし人間としての最低限の権利は保障されるべきだ。

### ■掲載情報は自由に使ってください

東京プレスクラブに掲載された情報は転載・引用・転送・共有・拡散、すべて自由です。もちろん、ブログ、ニュースサイト、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等々、各種メディアでの利用も自由です。こちらへの連絡も必要ありません。東京プレスクラブでは公共の利益になる取材を中心にすすめておりますので、これらの情報がシェアされ広く使われることを目的として活動しております。利用の際に料金等も必要ありません。気が向いたら構いませんので東京プレスクラブ提供と一言添えていただいたり、「東京プレスクラブ <http://tokyopressclub.com/>」へリンクしていただくと、今後の活動の活性化につながりますのでよろしく願います。

### ■サポーター募集

- ・テブ書き起こし
- ・動画編集
- ・取材
- ・中継
- ・撮影
- ・記事化サポート
- ・記事公開サポート

など、お手伝いいただける方募集します。特にテブ起こしは、自宅でもお手伝いいただけますし、人数が多ければ多いほど楽になります。ご興味ある方は [tokyopressclub@gmail.com](mailto:tokyopressclub@gmail.com) までお問い合わせください！

### ■オープン&シェア

オンライン会員の開催や勉強会の中継、話題となっている出来事取材やネットでのオープンな素材提供をおこなっております。また、特定の記者やジャーナリストだけではなく「誰でも参加でき、質問できる記者会見」をネットを活用してつくり、共有すべき情報や資料は迅速に共有し拡散することでみなさんのお役に立つことを目指しています。東京プレスクラブへのご連絡は [tokyopressclub@gmail.com](mailto:tokyopressclub@gmail.com) まで。

### ■情報提供お待ちしております

東京プレスクラブへの情報提供を随時お待ちしております。情報提供者の秘密は守ります。ご連絡は [tokyopressclub@gmail.com](mailto:tokyopressclub@gmail.com) まで。

東京プレスクラブ



親と子供は別だ。日本社会の、人権尊重、子供の尊重というフレーズはど絵空事か。親が公人でも、子供の権利は最大限尊重され、配慮されるべきだ。権力チェックに必要な、選挙にとって必要な情報はほとんど有権者に開示されるべき。しかし無制限ではないだろう。

このようなことをメディアがやるから人権救済機関の話が出てくる。メディアは権力が報道に干渉するなどという。そうであれば、言論機関同士できっちり議論を詰めて一定のルールを確立して欲しい。公人報道について、本人や成人の家族はある程度やむを得ない。しかし子供は別だと思う。

子供には本当に申し訳ないが、今回の一連の報道で闘志が沸いてきた。怒りのエネルギーを、大阪の統治機構を変えるエネルギーに転換する。これも政治家の能力だ。ある意味、週刊誌には感謝だ。大阪維新の会は燃えに燃えて、政治決戦に挑む。

個人情報保護しろ、心神喪失の場合には容疑者の名前を出すな、土地差別に繋がる情報を収集するな、挙句の果てには本日の朝日新聞のような学力調査の市町村別結果は出すな・・・社会には色々情報秘匿しているものがある。

大阪維新の会の教育基本条例に関しても、子供たちのためにならないなどなど。全部虚しいね。公人の子供であれば、超プライバシーにあたる事項も全て公開か。子供は自分でも知らなかった今回の週刊誌報道にかかる事実をこれから背負わされる。週刊誌はそのことに関してどう考えてるのかね。

公人に対する報道は無制限で結構。しかし公人にも完全別人格の子供もいる。公人の周囲の大人はまあしょうがない。しかし中学生や小学生がいきなりこの事実を背負うことは、公人の子供であればしょうがないのか。国民の知る権利、報道の自由は万能の神の権利なのか。

時刻: 22:31

[ホーム](#)

[前の投稿](#)

#### ブログアーカイブ

▼ 2011 (159)

▼ 10月 (38)

一連の週刊誌報道について、橋下徹氏がツイッターでコメントしました

『文句があるなら我々の所に言ってきたらいい』TBSに対する日本原子力開発機構のビンハネ疑惑抗議にみんな...

エルピーダに関する木村雅昭氏(経産省商務情報政策局審議官:当時)の発言について

野田総理が、ご自身の初給料を確認しなかった責任からか給料を3割カットするそうです

香川県がうどん県に改名しました

東京電力が10月24日読売新聞の1面報道を誤報と認定しました

JA全中がTPP交渉参加反対に関する国会請願の紹介議員一覧(356名)を公表しました

日本原子力研究開発機構がTBSテレビの放送を遺憾に思い、強く抗議しました

天下りロンダリングですよ！平将明議員 20111026衆議院内閣委員会質問

テレビメディアで都道府県のコンパージョンが進行中です

大阪公務員改革反対派による「680問の質問」

自由報道協会が上杉隆氏の辞任届を「受理しない」そうです

児玉龍彦氏講演「子供と妊婦を放射能被爆から守るために」

吉本興業が島田紳助氏と共同で、講談社に訴訟を提起しました

東京電力が補償金の支払い請求書を文部科学省に提出しました

10月21日国家公務員宿舎の削減のあり方についての検討会が開催されました。

上杉隆氏が自由報道協会の暫定代表を辞任

吉本興業における出版社抗議その2(講談社)

国家公務員宿舎の削減のあり方についての検討会がスタート

「言葉の力」奈美千子さんインタビュー

吉本興業における出版社抗議その1(東洋経済新報社)

塩崎議員の「国会による原発事故調査委員会とは」要点解説

文部科学省が『放射線等に関する副読本』を公開

公務員宿舎朝霞住宅(仮称)整備事業の再凍結に伴う朝霞市の対応について(H23.10.14時点)

ガバメント2.0～経済産業省が協同型電子政府構築手法に関する調査研究の公募をスタート

世田谷区で計測された高放射線量

について

公務員宿舎に関する松田太議員の質問に対する野田佳彦首相の回答について

ドイツZDF\_Frontal21の福島アルバイトレポート

「国家公務員制度改革推進本部事務局 公開OB会セミナー」録画公開

東京電力が「東京電力に関する経営・財務調査委員会」による料金原価＝6,000億円過大」指摘を完全に否...

財団法人日本原子力文化振興財団役員名簿について(平成23年7月1日現在)

原子力研究開発機構のピンはね問題資料「除染モデル事業の実態」

原子力被災者に対する取組について

野田首相 朝霞国家公務員宿舎を視察

ネット・マーケティングの新しい風(橋川幸夫)

公務員宿舎の全廃を求めます！を投稿しました。

朝霞公務員宿舎問題資料です。

「東京都暴力団排除条例」と「許されざる者(制作・著作:福岡県警察/福岡県暴力追放運動推進センター)」...

▶ 9月 (59)

▶ 8月 (39)

▶ 7月 (23)

FACEBOOK署名「古賀茂明氏を事務次官、児玉龍彦氏を保安院長に」

Like <770 Send

↑賛同していただける方はLike(いいね)をクリック

詳しくはこちらを御覧ください



